

## 令和 3 年度北海道がん対策基金の助成事業実績

## 1 北海道がん患者連絡会

<p>(1) 事業名及び事業区分 がん患者によるがん教育講師養成及び派遣事業 【がん教育推進事業】</p>
<p>(2) 事業概要</p> <p>「がん教育」は 2020 年度から、小学校、中学校、高等学校で順次実施され、体制整備が進められてきているところ。中でも、医療者やがん経験者などの「外部講師」の活用が推奨されているが、教育の専門家ではない外部講師が学校現場で子どもにどう伝えるか、どう携わるかについて課題となっている。</p> <p>そこで、がん患者による教育講師派遣養成講座・がん教育講義体験を開催しており、令和 3 年度は、集合研修に加えオンライン研修による養成体制及び派遣システムの構築を図った。</p>
<p>(3) 事業結果</p> <p>道内のがん患者会、支援団体、北海道教育庁、北海道がんセンターなどのがん診療連携拠点病院等と連携することにより、養成講座等を通じ、がん教育講師を育成でき、また、道内 3 校からの要請に基づき外部講師の派遣することができた。</p> <p>① がん教育外部講師養成講座 参加者 17 名  <span style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">{</span> <span style="display: inline-block; vertical-align: middle;">9 月 25 日:札幌会場 14 名、2 月 26 日:函館会場 3 名  ※両日ともオンライン開催。</span> </p> <p>② がん教育講義体験（がん教育実習） 参加者 10 名  <span style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">{</span> <span style="display: inline-block; vertical-align: middle;">11 月 5 日 北竜町立北竜中学校 2 名、  11 月 24 日 札幌市立東苗穂小学校 4 名、  12 月 2 日 札幌市立前田中央小学校 4 名</span> </p> <p>③ フォローアップ研修 参加者 25 名  <span style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">{</span> <span style="display: inline-block; vertical-align: middle;">11 月 4 日、22 日、12 月 9 日、10 日、3 月 10 日に、  オンラインで開催</span> </p>
<p>(4) 事業費及び助成金実績</p> <p>①事業費 当初計画額：536,590 円、変更額：167,150 円（▲369,440 円）  ②助成金 交付決定額：500,000 円、確定額：167,000 円、返還額：333,000 円</p>
<p>(5) 今後について</p> <p>養成講座プログラムは、受講者からのアンケートで見直しを図っている。今後は新型コロナウイルス感染症対策のため、集合研修に制限が引き続きあること、札幌圏域外からのニーズに対応するため、オンライン開催を含めた事業継続を検討していく。</p>
<p>(6) 部会委員からの主な意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業実施後にアンケートを行い、その結果を踏まえ検討しており関心した。</li> <li>・ がん教育は、現在子どもに対する部分を重点的に取り組んでおり、学習指導要領にも位置づけられていることから、部会へ教育関係の方に入っていただくのが良いのではないか。</li> </ul>

## 2 難治性がん啓発キャンペーン実行委員会

<p>(1) 事業名及び事業区分</p> <p>難治性がん啓発キャンペーン 2021WEB 医療セミナー</p> <p>「がんゲノム医療を活かそう ～肺がん・膵がんの診断と治療 患者と家族が期待すること～」</p> <p>【がん情報提供事業】</p>
<p>(2) 事業概要</p> <p>難治性がんのうち、道内で死亡率の高いすい臓がん及び肺がんについて、5年生存率の向上と難治性がんの撲滅を図るため、医療者、行政、医療関係企業などと連携しセミナーを開催し、がん検診や早期発見、早期治療等に係る普及啓発活動を実施。</p>
<p>(3) 事業結果</p> <p>① 開催概要</p> <p>ア 日 時 : 2021 年 6 月 20 日(日) 13:00～16:00</p> <p>イ 配信方法 : YouTube Live</p> <p>ウ セミナープログラム抜粋</p> <p>(ア)「リキッドバイオプシーの可能性について」</p> <p>講師: 谷口 浩也(愛知県がんセンター病院 薬物療法部 医長)</p> <p>(イ)「肺がん治療の最前線」</p> <p>講師: 品川 尚文(北海道大学病院 呼吸器先端医療機器開発研究部門 特任教授)</p> <p>(ウ)「すい臓がんの診断と治療」</p> <p>講師: 水上 裕輔</p> <p>(旭川医科大学内科学講座病態代謝・消化器・血液腫瘍 制御内科学分野がんゲノム医学部門教授)</p> <p>エ 視聴者数: 98 名</p> <p>② その他</p> <p>WEB で開催したことにより道央圏以外(道北、道南、道東)や道外からの参加、自宅療養中の方の参加が可能となったほか、今年度初めて、医療関係者や患者・家族等を交えた意見交換会を実施した。</p>
<p>(4) 事業費及び助成金実績</p> <p>①事業費 当初計画額: 691,000 円、変更額: 544,971 円(▲146,029 円)</p> <p>②助成金 交付決定額: 500,000 円、確定額: 482,000 円、返還額: 18,000 円</p>
<p>(5) 今後について</p> <p>引き続き、難治性がん(北海道で最も死亡率が高いすい臓がんと肺がん)に関するゲノム医療の最新情報を道民に提供し、理解してもらうことが重要であると考えている。今後とも医療関係者、患者・家族、行政、メディア等が連携し、肺がんとすい臓がんの5年生存率向上と希望を繋げるセミナーを開催することが重要である。</p>
<p>(6) 部会委員からの主な意見</p> <p>・ WEB で実施していることから、全国にもっと広げて行ってほしい。</p>

### 3 ピンクリボン in SAPPORO

<p>(1) 事業名及び事業区分</p> <p>ピンクリボン in SAPPORO 2021 【がん検診受診促進事業】</p>
<p>(2) 事業概要</p> <p>一人でも多くの市民にピンクリボンの活動や乳がんについての理解を深めてもらうため普及啓発イベントを開催。</p>
<p>(3) 事業結果</p> <p>様々なプログラムを提供することにより、乳がんに係る意識付けや、ピンクリボン活動の取組みについて、幅広い年齢層に周知することができた。</p> <p>① 開催概要</p> <p>ア 日時 : 2021 年 10 月 16 日(土) 11:00~17:00</p> <p>イ 場所 : 札幌駅前通地下歩行空間(チカホ)北3条交差点広場</p> <p>ウ イベント内容抜粋</p> <p>(ア) ミニトーク「乳がん最新情報」</p> <p>講師: 大村東生(東札幌病院ブレストケアセンター長)</p> <p>(イ) 音楽イベント、リーフレット配布等</p> <p>(ウ) 乳がん啓発に係るスライドの上映等</p> <p>(エ) さっぽろテレビ塔ライトアップ(19:00~21:00)</p> <p>② 参加者: 1,500 名以上</p>
<p>(4) 事業費及び助成金実績</p> <p>①事業費 当初計画額:2,085,000 円、変更額:2,031,600 円(▲53,400 円)</p> <p>②助成金 交付決定額: 300,000 円、確定額: 300,000 円</p>
<p>(5) 今後について</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、乳がん検診率は減少している。引き続き、協賛企業や支援団体との連携のうえ、時代に合った内容で、乳がん検診率向上に係るイベントを継続していきたい。</p>
<p>(6) 部会委員からの主な意見</p> <p>・ 毎年同じことを繰り返している印象。新しい内容も考えてほしい。</p>

#### 4 NP0 法人パンキャンジャパン北海道アフィリエイト

##### (1) 事業名及び事業区分

膵がん教室 【がん情報提供事業】

##### (2) 事業概要

北海道では、すい臓がんの死亡率が全国1位であり、また、すい臓がんは、5年生存率が10%と低いため、患者や家族は治療期間中、不安を抱えながら過ごしている。

病院等と協働でセミナーを開催し、希少がんに係る最新の情報を提供することにより、希少がん患者が前向きに治療に向き合う機会を作るとともに、患者、家族、医療関係者を繋げるため、専門医による講演及び交流会を実施。

##### (3) 事業結果

毎月（6月を除く）1回、専門医による講演及び交流会を開催した。

① 時 間：2時間（前半が講演、後半が交流会、各1時間）

② 方 法：講演はYOUTUBE LIVE 交流会はZOOM

③ 講 師：北海道内の病院に依頼

（北海道大学病院、手稲溪仁会病院、函館五稜郭病院、帯広厚生病院等）

④ 参加者：683名（オンライン参加：583名、会場：100名）

（月別内訳）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
55	48	—	26	44	49	38	217	65	52	42	47	683

##### (4) 事業費及び助成金実績

①事業費 当初計画額：636,493円、変更額：653,942円（+17,449円）

②助成金 交付決定額：500,000円、確定額：500,000円

##### (5) 今後について

膵がん教室に参加した方へのアンケートでは、8割が「前向きな気持ちになり不安が軽減された」と回答しており、患者・家族の生活の質の向上に寄与できたものと考えていることから、今後も継続的に事業を実施していきたい。

##### (6) 部会委員からの主な意見

- ・ 経済的なハードルもあるが、講演の中身も充実していたので、可能ならYoutubeで幅広く見られるようにすると良いのでは。

## 5 HHM ホット・ハンドむろらん

### (1) 事業名及び事業区分

タオル帽子、乳パッドの製作及び寄贈、レンタルウィッグ活動

【がん患者等相談支援事業】

### (2) 事業概要

抗がん剤の副作用により頭髮の抜けた方や、乳がんにより乳房を切除した方のサポートを行うため、タオル帽子や乳房パッドを作成し、道内のがん拠点病院等へ寄贈したほか、タオル帽子講習会やレンタルウィッグ相談会を年6回実施。

### (3) 事業結果

#### ① 年間作成個数

タオル帽子 1,200 個、乳パッド 800 個

#### ② 年間配布個数

(単位：個)

医療機関名	タオル帽子	乳パッド
北海道がんセンター	100	100
札幌医科大学附属病院	100	50
天使病院	50	50
NTT 病院	50	50
国立病院機構函館病院	100	100
札幌市立病院	50	50
苫小牧市立病院	50	50
北見赤十字病院	100	50
日鋼記念病院	150	100
室蘭市立病院	100	50
製鉄記念病院	200	100
小樽市立病院	50	50
小樽協会病院	50	50
合 計	1,150	850

### (4) 事業費及び助成金実績

①事業費 当初計画額：542,877 円、変更額：542,877 円（±0 円）

②助成金 交付決定額：330,000 円、確定額：330,000 円

### (5) 今後について

医療機関へのタオル帽子・乳パッドの寄贈や、薬局への冊子やチラシ等の配布を通じ、問い合わせがあること、また、活動拠点である室蘭市内のイベントへの参加やラジオへの出演依頼があり、ニーズや関心があると考えられることから、引き続き事業を継続していく必要性があると考えます。

### (6) 部会委員からの主な意見

- ・ 室蘭地域でこの活動の裾野が育ってほしい。また、各地域の中でも生まれてくると良いのでは。
- ・ 組織として小さいので、継承するような方法も考えてもらえると良い。

## 6 弟子屈町

<p>(1) 事業名及び事業区分</p> <p>弟子屈高校がん教育 【がん教育推進事業】</p>
<p>(2) 事業概要</p> <p>がん治療に携わっている看護師を講師として招き、がんの知識の習得やがん検診の重要性・必要性を理解してもらうための、がん教育を実施。</p>
<p>(3) 事業結果</p> <p>① 開催概要</p> <p>ア 日 時：2021 年 9 月 28 日(火)</p> <p>イ 場 所：弟子屈高校教室</p> <p>ウ 授業内容：「がんの正しい知識と行動」</p> <p>講師 内海 明美（市立釧路総合病院 がん看護専門看護師）</p> <p>エ 受講者数：23 名</p> <p>② その他</p> <p>がんの仕組みや原因、がんの予防等に関する授業を受けたことにより、がんやがん検診の理解が深まるとともに、生徒自身や家族の健康について考える良い機会となった。</p> <p>また、授業後、校内の保健だよりにおいてもがんやがん検診についての周知を行った。</p>
<p>(4) 事業費及び助成金実績</p> <p>①事業費 当初計画額：359,655 円、変更額：12,380 円（▲347,275 円）</p> <p>②助成金 交付決定額：132,000 円、確定額：12,000 円、返還額：120,000 円</p> <p>※ がん検診受診促進事業（交付決定額 75,000 円）、弟子屈高校がん教育事業（交付決定額 57,000 円）の 2 事業を交付決定したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、がん検診受診促進事業は中止。</p>
<p>(5) 今後について</p> <p>機会があれば、次年度も外部講師による授業を実施したい。</p>
<p>(6) 部会委員からの主な意見</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ がん教育は市町村の責務であり、自費で予算措置するよう努力してほしい。</li><li>・ 本件は道立高校で実施する事業であるため、道教委でも努力が必要なのではないか。</li></ul>